2014年７月実施、学校中間評価分析速報（概要）

～学年毎経年比較による変容を分析～

伊丹市立西中学校　平成26年８月５日

今年も継続して７月上旬、学校評価診断票（生徒、保護者、教職員対象）に回答願いました。１学期の生徒の実態、教育活動の進捗状況を客観的に把握します。中間評価の長所は、教職員の転勤等の影響がない２学期からの学校運営に役立ちます。更に、１月に実施する学校評価と比較し次年度の方策に生かします。今回は学年毎の変容を知ることにも生かし、昨年と比較した経年変化を提供します。

速報としてお知らせするねらいは、ご家庭と学校の連携（生徒・保護者・教職員の信頼関係）を濃密にすることにあります。お子様の頼もしい心身の成長を実現できますようご協力をお願いいたします。

きょうだい学級発表会（すべての教室に１～３年各グループが集う）

【学校生活に関する項目で経年変化の数値が上がるなど向上したもの】
保護者：24項目中18項目
生　徒：24項目中22項目

【全項目で80%以上良好とされたもの】
保護者：27項目中20項目
生　徒：23項目中12項目

回答は４段階（Ａよくあてはまる　Ｂややあてはまる　Ｃあまりあてはまらない　Ｄまったくあてはまらない）となっておりました。当分析では、Ａ及びＢの回答（数値%）を便宜上良好とします。

オープンスクール（体育授業）５月17日、土曜日

PTA企画委員会　４月19日、土曜日

生徒対象の設問について（80%以上良好）　：学校生活に関連する　19 項目中 12 項目
保護者対象の設問について（80%以上良好）：学校教育活動に関連する 23 項目中 18 項目
教職員対象の設問について（80%以上良好）：学校教育活動に関連する 28 項目中 25 項目

【生徒、保護者、教職員がともに高率で良好と回答したもの】（※昨年比）

赤数字（上昇した項目 P）

	【生　徒】	【保護者】	【教　員】
1　学校行くのが楽しい	86.6%(+1.9P)	92.3%(-0.3P)	設問なし
2　自信を持って行動し、他の人を思いやる気持ちになれる（自尊感情）	82.6 (+1.9P)	84.9 (-2.0P)	設問なし
3　林間、トライやる、修学旅行に達成感	91.8 (+1.8P)	97.4 (+0.1P)	94.1 (-5.9P)
4　社会のきまり、マナーについて（規範意識）	90.3 (+5.0P)	86.5 (+2.3P)	97.1 (+0.1P)
5　様々な場面（スピーチ、生徒会活動等）で表現力を高める	87.0 (+0.5P)	80.7 (-3.1P)	91.2 (+3.3P)
6　交通ルールを守り安全に登下校	92.9 (+2.0P)	89.9 (+0.9P)	94.1 (+3.5P)
7　健康管理について（保健だより等）	90.6 (+2.3P)	95.8 (-0.4P)	88.2 (-8.8P)
8　学校が生活の場として掃除が行き届いている	86.4 (+1.0P)	83.5 (+7.9P)	91.2 (-0.3P)
9　先生は学習の成果を適切に評価している	87.9 (+2.9P)	83.5 (-2.1P)	94.1 (+0.6P)
10 先生は分かり易くするために教え方を工夫している	81.9 (+3.5P)	84.4 (+6.2P)	97.1 (+0.2P)

ようこそ稲野幼稚園のこどもたち（6 月上旬、トライやるウィーク体験中の本校 2 年生徒たちが引率）

【他に保護者対象の設問で高率で良好だったもの】（※昨年比）

〇学力向上　85.5%(+1.6P)　　〇進路情報発信　84.3(+4.1P)
〇ホームページ、学年通信による情報発信　92.8(+2.1P)　〇学習の場としての環境　85.3(+4.5P)
〇自立心の向上、会話内容や言葉遣い、ふるまいに成長　80.3(-0.5)
〇進路のことについて相談する機会や場が設けられている　81.9(+3.7P)

総合体育大会　優勝

観客席（優勝を決めた瞬間）

【保護者対象の設問から抽出して経年変化（良好回答）の分析事例】

Q6　一人一人の生徒を理解した適切な指導
経年変化では、　H23（80.4%）　　H24（70.0）　　H25（71.3）　H26（76.5）となっている
（※今回、教職員は88.2）

Q9　進路について適切に情報発信　　84.3 (+4.1P)
今回、「情報発信」という語句を加筆して進路情報についてききとったところ、3年前比16P上昇し大いに成果があがっている。

Q16　ホームページ、学年だより等、学校情報発信　92.8 (+2.1P)
年毎に数値は上がり、4年連続90%超の状況である

【家庭での生活習慣（良好回答）についての設問（※学校と家庭が連携するため）】

Q21　お子さんは家庭で学習する習慣がある　65.3 (-0.5P)
全生徒単純比較で4.8P増加
経年変化　現3年生は、　1年生時 63.9　2年生時 64.5　　現在 73.6 (+9.1)
　　現2年生は、　1年生時 67.0　現在 56.9 (-10.1P)
　　現1年生は、　現在 66.6
※増加を期待したい。本校の学力向上に関する底上げは当設問の回答数値の上昇にかかっている。
3年生の9.1P増加が際立っている。

Q25　我が家では、時々学校のホームページをみている　　45.8 (+2.8P)
2年前比　11.1Pの上昇となった。
※全校生徒540人の保護者のうち概算で、247人がアクセスしている効果は大きい。

※学校で実践される授業内容・計画や特別授業（ゲストティーチャー招聘等）、受検（受験）情報など、あらゆる教育活動を事前に、また、リアルタイムにご覧いただくことに効果があるものと考えております。

８月２日納涼ふれあい夏まつり準備作業

【生徒対象の設問から抽出して経年変化（良好回答）の分析事例】

Q6　自分は、授業で積極的に発表しようとしている　　70.8 (+1.2P)

経年変化では、現３年生が　１年生時 75.2%　２年生時 68.0%　　現在 77.7 (+9.7P)

現２年生は　１年生時 73.4%　　現在 70.4 (-3.0P)

現１年生は　　現在 63.5

生徒の学習意欲について現３年生の取り組みに成果があがっている。上級学年になるにつれて意欲的傾向がある。

Q7　自分を大切にすること、他の人への思いやり（自尊感情）　82.6(+1.9)

１年 91.2　　２年 79.3　　３年 78.3

Q21　家庭で勉強する習慣がある　全体は　　58.9 (+4.9P)

経年変化では、　現３年生が１年生時 63.9　　２年生 50.3　現在 56.0

現２年生は１年生時 61.7　　現在 53.9

現１年生は　　現在 67.9

※学年が進級するにつれて自己の学ぶ充実度について熟慮するようになり、勉強の厳しさを自覚しているものととらえられる。

３年生英語授業

【スマートフォン・携帯所持を見合わせることが進み30%代となりました。市内の中学生所持率（H24年度学習状況調査では73.7%）と比較し本校が約35%以上低いことは、好ましい指標】
※一般的傾向として、安定した生活習慣となり家族で豊かな会話をもつことや学力向上のために有効に過ごすことが期待できます。本校の職員は、スマートフォン所持を原則見合わせるご協力で効果（生活習慣の安定・トラブル防止）を実感しながら教育活動に励んでいます。

Q28　子どもに携帯電話を持たしている　38.0% (-4.8P)　※マイナス数値はめざす指標

経年変化で	現３年生は	２年生時	33.1%	現在 37.7 (+4.6P)
	現２年生は	１年生時	41.0%	現在 43.1 (+2.1P)
	現１年生は			現在 32.7

※（注）今般、スマホ・携帯所持に関する生活習慣への影響や事件等の報道、識者の見解、学校、団体等の活動が広く知られるようになりました。本校では、先を見通して３年前からあらゆる場面で、成績（テスト得点）との相関性など資料提供も併せて本校生徒の生活への影響に関する傾向を伝えています。携帯電話、スマートフォン所持を控えるようにお願いしています。ご家庭のご理解、ご協力によって全校生の所持率は減少しました。お礼申し上げます。

新旧 PTA 委員総会４月

子どもが携帯、スマホをいつでも自由に使用し、また、個室に持ち込み使用すると、毎日の生活習慣に好ましくない影響があることが明白となっています。本校でも関係機関専門家によりプライバシーに配意してメール等使用実態について考察しました。スマホのアプリであるライン等使用による問題事案が報道等で世間を賑わせていることに注目願います。我が子に限っては大丈夫という思いはいかがなものでしょうか。子どもの使用実態を把握されていない家庭が一定多数あることが現状なのです。
８月２０日、市立図書館（ことば蔵）にて職員・PTA 役員研修として兵庫県警から講師を招聘しスマートフォンについて、検挙、被害防止に活躍する現状を聴きます。

※データの見方は一通りではない事例
「Q1　子どもは楽しく学校に行っている」設問では 92.3%が良好と掲載しましたが、約 30 人の方は我が子の学校生活がもう少し充実するよう、願っていることが汲み取れます。

ご家庭で、保護者の皆様が当分析資料を参考にしていただき、自ら勉強する、健やかな同年代の生徒同士の活動を楽しむ、芸術や運動に励んで心と体の健康を大切にする人になる・・・。
子どもの成長は、基本的に家庭と学校が協力しながら同じ方向（ベクトルを合わせる）を向いて教育することが、健全で判断力のある青年前期の育ちになり、効果的な教育活動を実現することになります。
※教育目標「めざす教師像」の一文には、「指導を振り返り改善を重ねる努力をする教師」としています。

校区小学校長懇談（稲野小・摂陽小・鈴原小・西中）　７月

吹奏楽部　稲荷祭へ出前演奏（住友電工）

【改善に向けて検討し迅速に実行するべきこと】

相談体制に関する回答は、生徒・保護者と教員では一定経年比較で改善しているものの、一層の信頼関係を大切にします。

（生徒対象設問）	Q9 先生は悩みや不安なことについて相談にのってくれる			68.7(+1.9)
	3年生	2年時 62.2	現在 64.0	
	2年生	1年時 71.8	現在 63.5	
	1年生		現在 79.8	
（保護者対象設問）	Q8 先生に子どものことについて相談できる			74.2(+3.7P)
	3年生	2年時 65.1	現在 64.7	
	2年生	1年時 73.9	現在 78.7	
	1年生		現在 78.4	
（教員対象設問）	Q8 悩みや不安を抱えている生徒の相談にのり、助言している			85.3(-5.6P)

（生徒対象設問）Q4	学習について、わからないことがあれば先生に質問できる			67.3(+11.2P)
	3年生	2年時 61.2	現在 67.4	
	2年生	1年時 59.6	現在 61.9	
	1年生		現在 73.6	